

令和元年10月30日（水）

# 富山県高岡市



市章

## ■市の概要

- 面積：210km<sup>2</sup>
- 人口：171,174人
- 世帯数：68,575世帯
- 令和元年度一般会計予算：656億4000万円

平成17年11月1日、高岡市と福岡町が合併し、新しい「高岡市」が誕生した。豊かな自然に恵まれ、長い歴史の中で培われてきた薫り高い文化と伝統、多彩な産業が息づく富山県西部の中核都市である。

南北の交通軸には東海北陸自動車道と能越自動車道が整備され、東西の新しい交通軸には平成27年3月に北陸新幹線が開業し、また、伏木富山港の総合的拠点港の選定などを機に、飛越能地域の玄関口、環日本海沿岸地域における交流拠点都市として、新たな飛躍を目指している。

豊富な歴史・文化資産やものづくりの伝統に支えられた歴史都市・高岡の強みをさらに磨き、活かしながら、まちの魅力、存在感を高め、「元気なふるさと高岡」の創造を進めている。

## ■視察内容「開業支援の取り組みについて」

### 1 制度導入の経緯

平成19年11月 第1期 高岡市中心市街地活性化基本計画、平成24年3月に第2期、平成29年4月に第3期を策定。第1期の目標の一つが、「中心市街地の賑わい創出」であり、その指標として「中心市街地の歩行者・自転車通行量」および「中心商店街の空き店舗数」があった。「中心商店街の空き店舗数」を減らす手段としてはじめてのが「開業支援」である。現在は第3期の期間中であるが、指標を「中心商店街の空き店舗数」から「中心市街地・観光地周辺における新規開業店舗数」へと変更。

### 2 制度の概要

3種類の補助金を設置。

#### (1) 高岡市中心市街地賑わい創出開業等支援事業補助金

趣旨としては中心市街地活性化のため、空き地、空き店舗等で新規開業する方を対象に家賃、店舗改装費等に対し支援を行うもので、対象は、高岡市中心市街地活性化基本計画のエリア内他一部エリアとなっている。

## (2) 高岡市観光地魅力アップ開業等支援事業補助金

観光地周辺の活性化のため、空き地、空き店舗や空き家で観光土産物産販売または飲食店を新規開業する方を対象に家賃、店舗改装費等に対し支援を行うもので、対象は市内有名観光地のうち、指定された道路の沿道エリア。

## (3) 高岡市空き店舗における開業支援事業補助金

周辺市街地の商店街の活性化のため、空き地、空き店舗等で新規開業する方を対象に家賃、店舗改装費等に対し支援を行うもので、対象は中心市街地以外の地域で形成される商店街。

### 3 事業の効果・成果と課題

第3期には新規開業店舗数、年10件以上という目標を達成。H23年～27年度の平均値も年8件から年13件へと増加している。2014年～2016年では創業率も全国平均の5.04%を上回る5.07%結果となった。それまで減少を続けていた事業所数も、2012年～2014年では横ばいとなる。しかし2014年～2016年ではゆるやかではあるものの再び減少となってしまった。高岡市の開業支援施策としては一定の効果があったといえるが一方で、高岡市の事業所数は減少傾向にあるという現状で、事業継承にも苦慮しているとのこと。

### 4 所感

新規開業店舗数をみれば良い結果が出ているが、高岡市全体での事業所数は結局のところ減少してしまっている、そもそも人口自体がやはり減少してしまっているというのが、地方創生の難しさを如実に表しているといえる。この杉並はいまだに人口が増え続けてしまっているのはやはり地方からの人口流入が続いているとみることができるが、受け入れる立場からみれば限られた土地の中で学校や保育園、学童、特養ホームなど、区



有施設の整備を常に考え続けなければならないなど、厳しい状況にある。

その対策としても全国各地での地方創生、地域活性化事業にはなんとか成功してもらいたいという切実な思いがあるが、単発的で局所的な施策では限界があるのかも知れない。同様の施策を全国の地域で同時多発的に促していく国としての動きも同時に必要になってくると思う。ふるさと納税のような場当たりのものではなく、地に足のついた政策によって東京からも地方の活性化を応援できる仕組みが望まれる。

「開業支援」という切り口でみれば、空き店舗を利用した新規開業支援というのは杉並でも参考にできる部分があると感じた。同じく事業継承という課題にあるので、若者の新規事業支援、事業継承支援の施策を当区でも考えていく必要があるだろう。

## ■視察内容「えき近夕市・たかおか朝市の取り組みについて」

### 1 概要

#### (1) えき近夕市

毎週火曜日、金曜日の週2日間、午後2時から4時まで、「あいの風とやま鉄道」高岡駅の南北自由通路にて開催。新鮮な青果物、加工食品、苗木・切花、手工芸品、特産品などが販売されており、特に、富山県内の農林水産物及びその加工品、高岡市の特産に関連する地場産品・商品の販売を優先している。周辺住民のニーズに応えるかたちではじまり、地産地消の推進と駅周辺の賑わいを創出する目的で平成17年にJR高岡駅の地下街で試験的に実施された。

#### (2) たかおか朝市

毎年4月から10月の毎月第2・第4日曜日に開催。消費者、生産者、流通業者相互の交流を深めるとともに健全な消費者意識の高揚を図り、明るく住みよい高岡のまちづくりに寄与し、朝市の賑わいと地域の活性化を図る目的ではじめられた。坂下町通りという大きな通りを歩行者天国として、青果物、塩干魚介類、加工食品、苗木・切花、手工芸品、特産品、リサイクル品等の販売に加え、オープニングセレモニーとして小学生の獅子舞なども。2020年でなんと40周年を迎えるという長寿イベント。



### 2 所感

近隣の市からも客が訪れるなどどちらもかなりの人出があり、特に朝市などは40年も続いているとのことでかなりの賑わいをみせているようである。地域活性化のための施策としては成功している一例といえる。しかし早朝かなり早い時間からということもあるのか参加者は出店側も購入側も高齢者が多く、なかなか若者が参加するまでに至っていないようである。もちろんそもそも若者が少ないということもあるだろうが、先に挙げた開業支援などとも連携をして、さらにひと工夫、人口減少に歯止めをかける仕掛けにまで展開できればなお良いと感じた。

また残念ながら杉並区としては地場のものが少ないので同様の取り組みは難しいとは思いますが、地場のものなどにこだわらなければ、たとえば年に1回でも中杉通りを歩行者天国にして誰でも参加できるフリーマーケットのようなものを大規模に開催したら区外からの来訪も見込め、面白いかも知れない。「街興し」が必要なのは杉並も同様なので、さまざまな展開を検討してみると良いだろう。



